



熊本県立矢部高等学校

〒861-3515
上益城郡山都町城平 954 番地
電話：72-0024 fax：73-1030

熊本県立矢部高等学校 卒業式

3月1日に卒業証書授与式が挙行され、63名の卒業生を送り出すことができました。3年間、保護者の皆様や地域の皆様に温かく見守られ、未来へ夢と希望と期待に胸膨らませ、矢部高校を巣立ちました。

また、今年度で4回目となる卒業後50年の同窓生の方にも御出席いただき、卒業生を祝っていただきました。

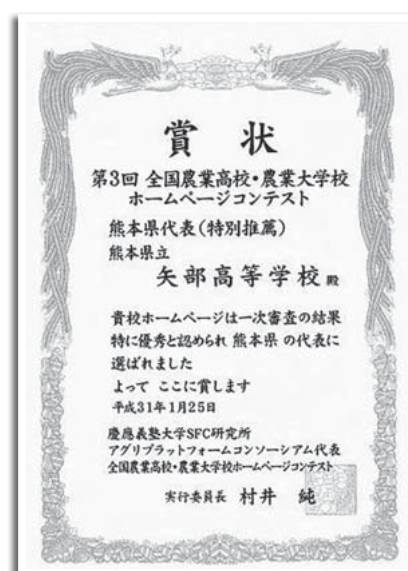


食農科学科 コサージュ作り

2月28日食農科学科の1、2年生は卒業生のためにガーベラ、レザーリーフファン、カスミソウをフローラルテープで一つ一つ丁寧に巻きつけてコサージュを作りました。卒業式で卒業生の胸につけるコサージュは赤、ピンク、オレンジそれぞれの学科で異なる色のガーベラを使用しました。



第3回全国農業高校・農業大学校ホームページコンテスト



慶應義塾大学SFC研究所が運営するアグリプラットフォームコンソーシアムでは、全国農業高校・農業大学校ホームページコンテストを開催されています。第3回全国農業高校・農業大学校ホームページコンテストの1次審査の結果、本校のホームページが評価され、386校から都道府県の代表48校の中に熊本県代表校（特別推薦）として選出されました。さらに、先日行われた本審査で、なんと最終表彰校15校に選出されました。表彰式は3月26日（火）に東京都港区の慶應義塾大学三田キャンパスで行われ、生徒2名と職員1名を招待していただきました。

矢部高校ホームページでは学校生活の様子を随時更新しています。また、Facebook、Twitterもスタートしています。是非御覧ください。

矢部高校ホームページ [矢部高校](#) [検索](#)
Facebook@yabe.hightschool Twitter@yabehighschool

わたしたちの人権

170

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

今月は部落解放を目指す人々のこれまでの
取り組みについて学びます。

日本における部落解放運動の始まりは、1922（大正11）年に創立された全国水平社です。解放令が出されて以降も、部落差別が社会悪であるという意識は民衆の間には定着しませんでした。一部の良心的な人々によって進められた融和運動も、差別する周りの意識を問題にしつつも、差別をなくすためには、ムラの人々の身なりや言葉づかいを直すことが必要であるというような風俗改善に力が注がれていました。

自立を求めるとともに、差別に対しては泣き寝入りせず、徹底的に学習し話し合う糾弾という方針を確立しました。また、全国水平社創立大会で訴えられた「一人の世に熱あれ、人間に光あれ」という水平社宣言は、わが国最初の人権宣言として高く評価され、世界にも誇りうるものです。

全国水平社は、差別事件に対して糾弾活動を行い、部落差別の過ちを訴え続けるとともに、ムラの環境改善や就業の問題についても取り組み、ムラの人たちにとって精神的にも大きな支えとなりました。また、農民運動や労働運動と

ともに連携し、日本の民主主義を支える大きな力となりました。

そして戦後の1951（昭和26）年、差別の実態を放置していた行政の責任を問いたしたオール・ロマンス事件を契機に解放運動は行政闘争を始めていきました。また、教科書無償の闘い、統一応募用紙の制定などの取り組みは、部落解放の取り組みであるというだけではなく、憲法に保障された基本的人権の保障をすべての人のものにしていくという金字塔をうち立ててきました。

現在では、部落差別解消だけでなく、子ども、高齢者、障害者、アイヌの人々、外国人、感染症患者等、刑を終えて出所した人などの人権問題にも積極的にかわり、部落差別をはじめあらゆる差別をなくするという運動にまで広がっています。

熊本県人権教育研究協議会
21世紀 人権の世紀を担うあなたにーより参考抜粋

5.23 差別をなくす山都地区集会



第23回5.23 差別をなくす山都地区集会の様子

差別のない、いじめのない、明るい町づくりを推進するため、次の日程で第24回「5.23 差別をなくす山都地区集会」を開催いたします。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日時 2019年5月25日（土）
午前8時45分～午前11時
場所 矢部中学校体育館